



川越市立大東西中学校 学校だより

きらめき

令和7年6月10日発行
第3号
川越市立大東西中学校
校長 小川 潤也

学校教育目標 『豊かな心をもち、たくましい生徒 ～ 夢や希望をもつ生徒 ～ 』
○自ら考え、自ら学ぶ生徒 ○豊かな心を育む生徒 ○心身の健康に努める生徒

行事を通して得たものを学校生活に生かそう

校長 小川 潤也

5月29日（木）、「成夏 優勝までの軌跡」というスローガンのもと、体育祭を無事に実施することができました。近年のこの時期の気温を考えると、熱中症等について大きな心配は少なく、体育祭日和だったと思います。当日は御多用の中、たくさんの御来賓の皆様の御臨席を賜ることができました。また、地域の皆様、そして保護者の皆様にも御来校、そして多くの声援をいただき、心より感謝申し上げます。当日に至るまで、生徒たちは限られた時間の中で、練習に取り組んできました。各団の輪、学級の団結力のもと、一つの目標に向かって練習に励む姿が見られました。開会式の中で、「ベストを尽くせるように一生懸命頑張ること」「仲間と協力すること」「まわりを応援すること」という3つの話をしました。これは、すべての生徒が取り組むことができる重要な姿勢だと私は考えています。体育祭では、勝負の部分は出てきますが、その目標に向かう過程の中で、生徒たちは多くの事を得て、学ぶことができました。それは、生徒一人一人の大きな成長です。例えば、「仲間と協力する」など体育祭の練習、本番を通じてできていたことは、日常の学校生活でも当然できるはずです。その時だけやればいいというものではないことは、生徒たちは十分わかっていると思います。体育祭という行事を通じて得たこと、学んだことを体育祭だけで終わらずに、ぜひ日頃の学校生活に生かして欲しいです。

このことは、本校の目指す学校像である「学び合い、認め合う中で、自己を磨き高めることができる学校」につながる部分です。行事を通してこのような経験ができる場であることが、学校の重要な存在意義であると考えます。来年度の体育祭もますます楽しみになりました。御来賓の皆様、地域の皆様、そして保護者の皆様におかれましては、来年度も多くの声援をいただき、生徒たちを認め、励ましていただければ幸いです。